

科目名	現代貧困論					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	5410

●授業のテーマ

現代社会と貧困問題

●到達目標

貧困問題の現実、それをもたらす経済社会の構造・矛盾を理解する。
多様な現れ方をしている今日の貧困の諸相を学び、関連づける。
貧困問題の改善・解決に向けた指針と展望を考察する。

●学習内容(授業概要)

貧困問題は、収入面にとどまらず、労働・生活における様々な不安・困難となって拡大してきている。それらをもたらす資本主義社会の仕組みとその矛盾を学び、今日の多様な貧困現象を働く国民全体に係わる問題として捉えていく。

また、その改善に求められる考え方や社会的対策のあり方を考察する。

●学習内容(授業計画)

- 1 授業のねらい・概要
- 2 「生活自助の原則」と限界
- 3 現代社会と貧困
- 4 今日の雇用・労働条件
- 5 ワーキング・プア
- 6 セーフティネットとは
- 7 しわ寄せを受ける人々
- 8 社会的排除の現実
- 9 社会問題としての貧困問題
- 10 貧困の階層性と地域性
- 11 ホームレス
- 12 就労・生活保障の拡充に向けて
- 13 社会保障・福祉のあり方
- 14 貧困を克服する活動・運動
- 15 授業全体の振り返り

●準備学習・事後学習の内容

準備：用いるテキストの該当部分をあらかじめ読み、具体的な関心を持つようにする。

事後：貧困問題の共通性・相互関係を見出せるように、毎回の内容を各自なりに振り返って整理し、積み上げていく。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割

期末試験：7割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『反貧困－「すべり台社会」からの脱出』（岩波新書）、著者名：湯浅 誠、出版社：岩波書店、販売先：Yショップ

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

●履修上の注意

労働・生活にかかわるマスコミ（新聞・TV等）の報道に関心を寄せたり、行政が公表する調査・統計報告などに接して、問題の実態をつかみながら学んでもらいたい。